

## 本社工場で太陽光発電を開始 竣工式を挙げる

山陽特殊製鋼株式会社(本社 兵庫県姫路市、代表取締役社長 宮本 勝弘)は、本社工場内での太陽光発電を開始しました。PPA モデル\*による自家消費方式で建物面積約 5,600 m<sup>2</sup>の製品倉庫の屋上に太陽光発電設備を設置し、7月12日から稼働を開始しております。7月31日には関係者列席のもと、竣工式を執り行いました。

このたび設置した太陽光発電設備により、製品倉庫および本社事務所の年間電力消費量を上回る約60万 kWh/年の電力を太陽光発電による再生可能エネルギーで賄うことが可能となります。この太陽光パネルの容量は512.43kWで、年間約266トンのCO<sub>2</sub>排出量を削減できる見込みです。

当社は、2030年度の達成目標として、自社で排出するScope1、2に該当するCO<sub>2</sub>排出量を2013年度比50%以上削減することとあわせて、Scope3に該当するCO<sub>2</sub>排出量を2021年度比25%削減することを掲げ、製造現場を中心とした全社の省エネ対策やエネルギー効率を高めるエコプロセス、水力発電由来の再生可能エネルギーを含めたグリーンエネルギー活用等を推進してまいります。

※PPA(Power Purchase Agreement)モデル：電力使用者が提供した敷地や屋上等のスペースに、太陽光発電設備の所有・管理を行うPPA事業者が発電設備を設置し、発電された電力を電力使用者に供給する契約形態。

今回、当社は Daigas エナジー株式会社(本社：大阪府中央区、社長：福谷博善、大阪ガス株式会社の100%子会社)と契約しました。



■製品倉庫屋上の太陽光発電設備



■竣工式でのテープカット  
(左)Daigas エナジー福谷社長、  
(右)当社宮本社長

以上